

第5期市民参加推進会議 論点の提案まとめ

| 番号 | 提案者 | 論点 | 提案理由 |
|----|--------|---|---|
| 1 | 福井委員① | 大学生の協力 大学生は、学校の単位取得が一番であり、地域参加のボランティア活動は後回しになっている。そのために、地域参加活動する大学生に、特典を挙げる。 | 企業・団体サークル主催のイベントやボランティアなどの地域参加活動した大学生に、小金井市認定の「社会参加認定書」を贈呈する。（就職活動にも活用） |
| 2 | 福井委員② | 市の若手職員の協力 市内の地域イベント活動には、年配者が多い。コミュニティ文化課の職員だけに任せるのではなく、市の若々しい職員が参加することが、まちの活性化につながる。 | 若手職員の地域イベントの参加は、本人が市民生活の現状をより知ることになり、業務活動の主体性の回復の起爆剤にもつながる。 |
| 3 | 福井委員③ | 若者の協力 若者（18～25歳）は、行政に抵抗があるので、地域活動に参加しやすくする。「市民参加センター施設」を新設して、若者も相談しやすい環境にする。 | 若者主催事業として、企画・運営するための「若者運営委員会」を設置する。 まちづくり活動：（例）「10年後の若者のまち小金井を目指す」などを検討推進。 |
| 4 | 浅野副委員長 | ・ヒアリング結果の整理と市への提言が可能な論点の抽出。 ・子育てニーズ調査の結果の検討。 ・市民意向調査の内容把握（参加に関してどのような質問が盛り込まれそうか等）。 ・長期計画の進捗状況把握（市民参加に関する項目がどのように扱われるのか等）。 | 現状把握をした上で、提言の具体化の方策を探る。 |
| 5 | 古畑委員① | 小金井若者センターの設立 | 小金井青年会議所など公益社団法人等とタイアップし、街づくりに熱意をもつ20才から40才までの若者が集い、街づくりに関する調査、啓発活動、企画運営を通して街づくりに関する政策提言、情報提供、その運営方針を策定、さらにこれらを推進するため、地域民間ボランティアの形成を進め、共同で取り組む。 このほか行政の協力を得て活動目的を達成するため多様な活動を展開する。 |
| 6 | 古畑委員② | 地域若者サポートステーションの開設 | 働くことを始めとして、地域の若者の自立支援をするために「地域若者サポートステーション」を開設し、さまざまな悩みの解決に対応する。 |

| 番号 | 提案者 | 論点 | 提案理由 |
|----|-------|--|--|
| 7 | 杉本委員① | 市民参加には市民活動への参加と市政への参加に分類整理され则认为ます。市民活動への参加には情報と若者が集まれる場の提供が必要です。どのような場所や機能を持った場が集まりやすいのかが論点となると考えます。 | 若者は市報から情報を得ることが少なく、インターネットによる情報入手や交換が中心です。まずは小金井市のホームページを充実させ、興味を持たせるような内容をトップに掲載することが必要です。また若者が気楽に情報を交換できるような場を提供し、公民館や児童館など子どもや高齢者が集まる場所に若者が気楽に立ち寄り、世代の交流が自然にできる居場所が活動を始めるきっかけづくりになると思います。 |
| 8 | 杉本委員② | 市政への参加には、審議会や議会の傍聴、陳情書や意見書の提出、選挙への投票行動などがあります。参加を促すためには、議会の内容をわかりやすく伝える工夫、保育環境の整備や、提案シートの積極的な活用、意見を交換できる場づくりなどがありますが、何をどのように進めていくのか、具体性のある実現可能な道につながる議論が必要だと考えます。また20歳台の投票率は非常に低い。若者の投票率を上げるにはどうしたらいいのかを考えるべきです。 | 市政に参加したいと思う若者が少ない原因として、「意見を提案しても取り上げてもらえない」「どうせ変わらない」という諦め感や無力感が根底にあると思います。そのためにも30代や40代の若者からの提案・意見を取り上げ、市政に反映できるような仕組みを充実していくことが必要です。 |
| 9 | 田中委員 | 若者の市民参加を促すために学生にはたきかけてはどうか。 | やみくもにチラシを送っても効果がなかったのので、具体的にターゲットをしぼることを考えてみた。たとえば、公募委員を募集している委員会ならば、その分野を学んでいる大学や専門学校の学生に参加をよびかけるのはどうだろうか。 |
| 10 | 西尾委員長 | 子ども・若者議会 | 子ども・若者に対する市民教育・実践型学習の意味も持たせつつ、青少年にかかわる市政の課題について若者に議論の機会と場を提供し、政策に反映する。実施主体は行政でも議会でも可。イギリスに例あり。 |